

文教科学委員会

委員一覧（20名）

委員長	二之湯	智（自民）	鈴木	寛（民主）	熊谷	大（自民）
理事	神本	美恵子（民主）	谷	亮子（民主）	義家	弘介（自民）
理事	藤谷	光信（民主）	林	久美子（民主）	草川	昭三（公明）
理事	橋本	聖子（自民）	水岡	俊一（民主）	西田	実仁（公明）
理事	水落	敏栄（自民）	横峯	良郎（民主）	江口	克彦（みん）
	大島	九州男（民主）	石井	浩郎（自民）	自見	庄三郎（国民）
	斎藤	嘉隆（民主）	上野	通子（自民）		(23. 3. 10 現在)

（1）審議概観

第177回国会において本委員会に付託された法律案は、内閣提出3件、本院議員提出1件、衆議院提出1件（文部科学委員長）及び衆議院議員提出1件の合計6件であり、4件を可決、1件を修正議決、1件を否決した。

また、本委員会付託の請願17種類136件のうち、1種類3件を採択した。

〔法律案の審査〕

展覧会における美術品損害の補償に関する法律案及び海外の美術品等の我が国における公開の促進に関する法律案は、委員会において、両法律案を一括して議題とし、両法律案の趣旨、地震等による美術品の損害補償、主権免除法との関係等について質疑が行われた。

質疑終局後、美術品損害補償法案について、民主党・新緑風会、自由民主党、公明党及びみんなの党から施行期日等に関する修正案が提出された。

順次採決の結果、美術品損害補償法案については、修正案及び修正部分を除く原案はいずれも全会一致をもって可決され、本法律案は修正議決された。海外美術品公開促進法案は、全会一致をもって

可決された。

公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律の一部を改正する法律案は、委員会において、参考人から意見を聴取するとともに、基礎定数により少人数学級を実現することの意義、特別支援教育の充実に向けた加配定数の弾力的活用、被災地の実態に応じた教職員配置の必要性等について質疑が行われ、全会一致をもって可決された。なお、附帯決議が付された。

独立行政法人日本学術振興会法の一部を改正する法律案は、委員会において、研究費予算の一層の充実、基金化の意義、研究費の不正防止策等について質疑が行われ、全会一致をもって可決された。なお、附帯決議が付された。

東日本大震災に対処するための私立の学校等の用に供される建物等の災害復旧等に関する特別の助成措置等に関する法律案は、委員会において、平成23年度第1次補正予算による私立学校施設の災害復旧の状況、災害復旧事業において公私間格差を是正する必要性、本法律案と私立学校の自主性との関係等について質疑が行われたが、討論の後、賛成少数により否決された。

スポーツ基本法案は、委員会において、スポーツ予算の充実、障害者スポーツへの支援、スポーツ庁設置へ向けての展望等について質疑が行われ、全会一致をもって可決された。

〔国政調査等〕

3月10日、第176回国会閉会後の平成23年1月17日から18日までの2日間、京都府及び奈良県で実施した、地方における初等中等教育、文化及び科学技術等に関する実情調査のための委員派遣について、派遣委員から報告を聴取した。

また、同日、文教科学行政の基本施策について高木文部科学大臣から所信を、平成23年度文部科学省関係予算について鈴木文部科学副大臣から説明を、それぞれ聴取した。

3月24日、平成23年東北地方太平洋沖地震等による被害について鈴木文部科学副大臣から説明を聴取した。

また、同日、文教科学行政の基本施策に関し、平成23年東北地方太平洋沖地震等による被害状況及び政府の取組、教育分野における復興支援に際し、文部科学省が主導的役割を担う必要性、学校施設耐震化関連予算の十分な確保に向けての文部科学大臣の決意、緊急時迅速放射能影響予測ネットワークシステム（SPEEDI）による試算結果公開に至る経過、被災した教員に配慮した教員免許更新手続、被災した児童生徒が転校を希望する場合における受入れ態勢、避難所となっている学校に対する人的支援の重要性、原子力行政一元化の必要性、文化財の被災状況、被災地復興支援の財源確保に向け、高校授業料無償化等を見直す必要性等について質疑を行った。

3月25日、予算委員会から委嘱された

平成23年度文部科学省予算の審査を行い、義務教育費国庫負担金に10パーセント削減のシーリングを設けた理由、少人数学級と少人数指導との相違、平成23年度予算で確保した教職員定数を被災地の教育復興のために振り分ける必要性、避難所としての廃校施設の活用、福島第一原発事故による屋内退避指示圏内における新学期以降の児童・生徒への対応策、学校におけるICT活用についての文部科学省の方針等について質疑を行った。

4月19日、東日本大震災に関する件を議題とし、鈴木文部科学副大臣から説明を聴取した後、円満な学校再開のため、仮設住宅を早急に建設する必要性、県外に転校する被災児童生徒への行政手続上の弾力的対応及び就学支援の必要性、地域の防災拠点・避難所としての役割を有する学校施設の中長期的な整備、被災地及び被災児童生徒の転校先における教職員配置の在り方並びに心のケア等のための加配措置の必要性、放射線量に係る安全基準の早期策定・明示及び原発周辺地域の学校への線量計配備の重要性、学校耐震化予算を第1次補正予算に盛り込む見通し、放射線の風評被害に伴う修学旅行自粛等の動きに対し、安全宣言により不安を払拭する必要性、風評被害防止策としての放射線モニタリングの徹底、文教施設復旧に際し災害救助法の適用範囲を拡大する必要性、福島第一原子力発電所における津波に対する認識の甘さ、原子力損害賠償法による賠償責任と事故原因の究明の在り方等について質疑を行った。

5月17日、東日本大震災に関する件について鈴木文部科学副大臣から説明を聴取した。

また、同日、被災地における教職員の

確保・配置のための具体的支援策及び被災した研究機関等の早期復興の重要性、緊急時迅速放射能影響予測ネットワークシステム（SPEEDI）の運用状況及び大震災直後に所期の機能を果たせなかった原因・経緯、福島県内の学校の校庭等の利用判断における積算線量の暫定的な目安の妥当性、放射能に汚染された校庭の土壌について福島県郡山市の採った措置に対する文部科学大臣の評価、福島県外に避難した児童生徒に対する文部科学省の施策及び原発事故収束に向けての展望等について質疑を行った。

5月31日、東日本大震災に関する件について鈴木文部科学副大臣から説明を聴取した。

また、同日、高速増殖炉「もんじゅ」を廃止すべきとの意見に対する政府の見解、文部科学省委託による放射線業務従事者に係る疫学的調査及び低線量被ばくによる健康への影響、緊急時迅速放射能影響予測ネットワークシステム（SPEEDI）の運用目的及び震災発生直後に予測結果が公開されなかった理由、原子力損害に係る政府の責任及び損害賠償に関する政府の支援の枠組み、福島県内の学校の校庭等の利用判断における積算線量の暫定

的な目安の妥当性及び線量低減に向けた具体的対策等について質疑を行った。

6月9日、東日本大震災による児童生徒及び学校施設の被災状況等に関する実情調査のため、岩手県に委員を派遣して現地調査を行った。

6月16日、スポーツの基本施策に関する件を議題とし、民間スポーツ施設に対する課税の在り方、利用者の安全確保のための社会体育施設耐震化の必要性、スポーツが医療、観光等に対して果たす役割、総合型地域スポーツクラブの設置見直し及び学校施設を地域のスポーツ施設として活用する必要性、トップアスリート育成によるスポーツ立国戦略等について質疑を行った。

また、同日、平成23年6月9日に岩手県で実施した、東日本大震災による児童生徒及び学校施設の被災状況等に関する実情調査のための委員派遣について、派遣委員から報告を聴取した。

8月4日、スポーツに関する実情調査のため、独立行政法人日本スポーツ振興センター（味の素ナショナルトレーニングセンター、国立スポーツ科学センター）を視察した。

（2）委員会経過

○平成23年3月10日（木）（第1回）

- 教育、文化、スポーツ、学術及び科学技術に関する調査を行うことを決定した。
- 派遣委員から報告を聴いた。
- 文教科学行政の基本施策に関する件について高木文部科学大臣から所信を聴いた。
- 平成23年度文部科学省関係予算に関する件について鈴木文部科学副大臣から説明を聴いた。

○平成23年3月24日（木）（第2回）

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 平成二十三年東北地方太平洋沖地震等による被害について鈴木文部科学副大臣から説明を聴いた。
- 文教科学行政の基本施策に関する件について高木文部科学大臣、鈴木文部科学副大臣、林文部科学大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

義家弘介君（自民）、上野通子君（自民）、

熊谷大君（自民）、草川昭三君（公明）、江口克彦君（みん）

○展覧会における美術品損害の補償に関する法律案（第176回国会閣法第14号）について高木文部科学大臣から趣旨説明を、衆議院における修正部分について修正案提出者衆議院議員池坊保子君から説明を聴き、

○海外の美術品等の我が国における公開の促進に関する法律案（衆第1号）（衆議院提出）について提出者衆議院文部科学委員長田中眞紀子君から趣旨説明を聴き、

○展覧会における美術品損害の補償に関する法律案（第176回国会閣法第14号）

海外の美術品等の我が国における公開の促進に関する法律案（衆第1号）（衆議院提出）

以上両案について衆議院文部科学委員長代理古屋圭司君、高木文部科学大臣、笹木文部科学副大臣及び林文部科学大臣政務官に対し質疑を行った後、展覧会における美術品損害の補償に関する法律案（第176回国会閣法第14号）を修正議決し、海外の美術品等の我が国における公開の促進に関する法律案（衆第1号）（衆議院提出）を可決した。

〔質疑者〕

水落敏栄君（自民）

（第176回国会閣法第14号）

賛成会派 民主、自民、公明、みん

反対会派 なし

欠席会派 国民

（衆第1号）

賛成会派 民主、自民、公明、みん

反対会派 なし

欠席会派 国民

○平成23年3月25日（金）（第3回）

○政府参考人の出席を求めることを決定した。

○平成二十三年度一般会計予算（衆議院送付）
平成二十三年度特別会計予算（衆議院送付）
平成二十三年度政府関係機関予算（衆議院送付）

（文部科学省所管）について高木文部科学大臣、五十嵐財務副大臣、鈴木文部科学副大臣、小林厚生労働大臣政務官及び政府参考

人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

義家弘介君（自民）、西田実仁君（公明）、江口克彦君（みん）

本委員会における委嘱審査は終了した。

○平成23年3月31日（木）（第4回）

○公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律の一部を改正する法律案（閣法第15号）（衆議院送付）について高木文部科学大臣から趣旨説明を、衆議院における修正部分について修正案提出者衆議院議員池坊保子君から説明を聴いた。

○平成23年4月12日（火）（第5回）

○政府参考人の出席を求めることを決定した。

○公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律の一部を改正する法律案（閣法第15号）（衆議院送付）について修正案提出者衆議院議員池坊保子君、高木文部科学大臣、鈴木文部科学副大臣、尾立財務大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

斎藤嘉隆君（民主）、大島九州男君（民主）、義家弘介君（自民）、上野通子君（自民）、熊谷大君（自民）、西田実仁君（公明）、小熊慎司君（みん）

また、同法律案について参考人の出席を求めることを決定した。

○平成23年4月14日（木）（第6回）

○公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律の一部を改正する法律案（閣法第15号）（衆議院送付）について次の参考人から意見を聴いた後、両参考人に対し質疑を行った。

〔参考人〕

二宮町立二宮小学校校長 桑田正明君

鳥取市教育委員会教育長

全国都市教育長協議会会長 中川俊隆君

〔質疑者〕

水岡俊一君（民主）、橋本聖子君（自民）、草川昭三君（公明）

○政府参考人の出席を求めることを決定した。

- 公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律の一部を改正する法律案（閣法第15号）（衆議院送付）について高木文部科学大臣、鈴木文部科学副大臣、尾立財務大臣政務官、林文部科学大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った後、可決した。

〔質疑者〕

水落敏栄君（自民）、石井浩郎君（自民）、
義家弘介君（自民）、小熊慎司君（みん）
（閣法第15号）

賛成会派 民主、自民、公明、みん

反対会派 なし

欠席会派 国民

なお、附帯決議を行った。

○平成23年4月19日（火）（第7回）

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 参考人の出席を求めることを決定した。
- 東日本大震災に関する件について鈴木文部科学副大臣から説明を聴いた後、高木文部科学大臣、同副大臣、松下経済産業副大臣、東内閣府副大臣、小宮山厚生労働副大臣、尾立財務大臣政務官、林文部科学大臣政務官、和田内閣府大臣政務官、田名部農林水産大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

水岡俊一君（民主）、神本美恵子君（民主）、
義家弘介君（自民）、上野通子君（自民）、
熊谷大君（自民）、草川昭三君（公明）、江
口克彦君（みん）

- 独立行政法人日本学術振興会法の一部を改正する法律案（閣法第16号）（衆議院送付）について高木文部科学大臣から趣旨説明を聴き、同大臣、笹木文部科学副大臣、林文部科学大臣政務官、政府参考人及び参考人独立行政法人日本学術振興会理事長小野元之君に対し質疑を行った後、可決した。

〔質疑者〕

横峯良郎君（民主）、水落敏栄君（自民）、
草川昭三君（公明）、江口克彦君（みん）
（閣法第16号）

賛成会派 民主、自民、公明、みん

反対会派 なし

欠席会派 国民

なお、附帯決議を行った。

○平成23年5月17日（火）（第8回）

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 東日本大震災に関する件について鈴木文部科学副大臣から説明を聴いた。
- 被災地における教職員の確保及び配置のための具体的支援策に関する件、福島県内の学校に係る積算線量の暫定的な目安の妥当性に関する件、緊急時迅速放射能影響予測ネットワークシステム（SPEEDI）の運用状況に関する件、放射能に汚染された校庭の土壌について福島県郡山市の採った措置に関する件、福島県外に避難した児童生徒に対する文部科学省の施策及び原発事故収束に向けての展望に関する件等について高木文部科学大臣、福山内閣官房副長官、鈴木文部科学副大臣、林文部科学大臣政務官、樋高環境大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

斎藤嘉隆君（民主）、上野通子君（自民）、
西田実仁君（公明）、江口克彦君（みん）

○平成23年5月31日（火）（第9回）

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 参考人の出席を求めることを決定した。
- 東日本大震災に関する件について鈴木文部科学副大臣から説明を聴いた。
- 高速増殖炉「もんじゅ」の在り方に関する件、低線量被ばくによる健康への影響に関する件、緊急時迅速放射能影響予測ネットワークシステム（SPEEDI）の目的及び住民避難のための予測データ公開の必要性に関する件、原子力損害に係る政府の責任及び損害賠償のための支援枠組みに関する件、福島県内の児童生徒が受ける放射線量低減のための具体的方策に関する件等について高木文部科学大臣、福山内閣官房副長官、笹木文部科学副大臣、鈴木文部科学副大臣、林文部科学大臣政務官、政府参考人及び参考人財団法人原子力安全技術センター理事長数土幸夫君に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

横峯良郎君（民主）、古川俊治君（自民）、
上野通子君（自民）、草川昭三君（公明）、
江口克彦君（みん）

- 委員派遣を行うことを決定した。

○平成23年6月16日(木) (第10回)

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- スポーツの基本施策に関する件について高木文部科学大臣、鈴木文部科学副大臣、中山経済産業大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

大島九州男君（民主）、斎藤嘉隆君（民主）、
橋本聖子君（自民）、西田実仁君（公明）、
江口克彦君（みん）

- 派遣委員から報告を聴いた。

○スポーツ基本法案（衆第11号）（衆議院提出）

について発議者衆議院議員遠藤利明君から趣旨説明を聴き、同奥村展三君、同遠藤利明君、同宮本岳志君、同富田茂之君、同馳浩君、高木文部科学大臣、鈴木文部科学副大臣及び政府参考人に対し質疑を行った後、可決した。

〔質疑者〕

谷亮子君（民主）、友近聡朗君（民主）、橋本聖子君（自民）、江口克彦君（みん）

（衆第11号）

賛成会派 民主、自民、公明

反対会派 なし

欠席会派 みん、国民

○平成23年8月18日(木) (第11回)

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 東日本大震災に対処するための私立の学校等の用に供される建物等の災害復旧等に関する特別の助成措置等に関する法律案（参第21号）について発議者参議院議員橋本聖子君から趣旨説明を聴き、同義家弘介君、同江口克彦君、同草川昭三君、高木文部科学大臣、鈴木文部科学副大臣及び政府参考人に対し質疑を行い、国会法第57条の3の規定により内閣の意見を聴き、討論の後、否決した。

〔質疑者〕

神本美恵子君（民主）、斎藤嘉隆君（民主）、
大島九州男君（民主）、熊谷大君（自民）、
西田実仁君（公明）、亀井亜紀子君（国民）
（参第21号）

賛成会派 自民、公明、みん

反対会派 民主、国民

○平成23年8月31日(水) (第12回)

- 請願第1195号外2件は、採択すべきものにして、内閣に送付するを要するものと審査決定し、第2号外132件を審査した。
- 教育、文化、スポーツ、学術及び科学技術に関する調査の継続調査要求書を提出することを決定した。
- 閉会中における委員派遣については委員長に一任することに決定した。

委員派遣

○平成23年1月17日(月)、18日(火)

- 地方における初等中等教育、文化及び科学技術等に関する実情調査

〔派遣地〕

京都府、奈良県

〔派遣委員〕

二之湯智君（自民）、神本美恵子君（民主）、
藤谷光信君（民主）、橋本聖子君（自民）、
水落敏栄君（自民）、大島九州男君（民主）、
斎藤嘉隆君（民主）、谷亮子君（民主）、
水岡俊一君（民主）、石井浩郎君（自民）、
江口克彦君（みん）

○平成23年6月9日(木)

- 東日本大震災による児童生徒及び学校施設の被災状況等に関する実情調査

〔派遣地〕

岩手県

〔派遣委員〕

二之湯智君（自民）、神本美恵子君（民主）、
藤谷光信君（民主）、橋本聖子君（自民）、
水落敏栄君（自民）、大島九州男君（民主）、
斎藤嘉隆君（民主）、横峯良郎君（民主）、
石井浩郎君（自民）、上野通子君（自民）、
熊谷大君（自民）、草川昭三君（公明）